

潮田 益子

幼時より篠崎弘嗣氏に手ほどきを受け、昭和25年小野アンナ女史に師事。昭和30年第24回音楽コンクール第3位入賞、昭和32年桐朋学園高等科入学。ジャンヌ・イスナール女史来日により、同女史にも師事。同年第26回音楽コンクール第一位入賞、特賞を受けた。現在桐朋学園高等科第三学年在学中。斉藤秀雄氏指揮、桐朋学園オーケストラ（ドッペル・コンチェルト）、ヴィヴァルディ（四季）、プロコフィエフ（協奏曲）などを協演。

昭和33年1月、ロイブナー氏指揮、NHK交響楽団とヴィヴァルディ（四つのヴァイオリンのためのコンチェルト）を協演。

同年7月、朝比奈隆氏指揮、関西交響楽団とベートーヴェン（協奏曲）を、9月には森正氏指揮、同楽団とチャイコフスキー（協奏曲）をそれぞれ協曲。

同年12月、斉藤秀雄氏指揮、東京交響楽団とブラームス（ドッペル・コンチェルト）協演。そのほか労音、放送、テレビなどに出演。

山本 美奈子

昭和4年に東京で生れ、昭和25年東京音楽学校を中退。金子登、永井進、田村宏の各氏に師事。

昭和25年の第19回音楽コンクールに入賞。その後、昭和30年、昭和32年と2回にわたってリサイタルを開いた。感心しい活躍をしておられる中堅ピアニストである。

潮田 益子

PROGRA

- I パルティー 第1番
- II ヴァイオリン 協奏
- III ヴァイオリン ソナタ
- IV キャプリス
- ツ イ ガ

